

平成23年度 事業計画書

大慈デイサービスセンター

No.1

1. <<平成23年度法人ヴィジョン>>

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. <<基本方針>>

法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」を基本方針として、要援護の高齢者がより自律的な生活を可能な限り自立して安らかに営むこと、社会的孤立感を解消すること、心身機能の維持、向上を図ることを目的として高齢者自身を援助することの他、介護する家族の身体的・精神的負担を軽減できるよう努力し、在宅での介護が中心となるデイサービスの利用者に対し、ケガ・事故の無い様に細心の注意を払い、より良い環境でのサービスを提供していく。

3. <<ケア部門>>

<3ヵ年計画>

●最終目標 『ADLが向上するデイサービスの構築を目指す』

●中期計画

- ①経営理念やヴィジョンを全員が把握し、徹底していくことで特色ある施設作りができて
- ②職員レベルを向上させプロ集団を形成すると共に、サービスの質向上を図る。

○平成21年度(1年目)

「課題の抽出及び検討」

- ・体制確立の為、ゲスト個々のニーズ、課題を抽出し検討。

○平成22年度(2年目)

「実施・検討・評価」

- ・課題に対し対策を実施、検討、評価を行なう。

○平成23年度(3年目)

「システムの完成」

- ・検討を重ね、目標へつなげる。

4. <<23年度重点目標>> 「システムの完成」

①前年度からの課題

A) ADL向上事業

- ・運動機能向上、栄養改善、口腔機能の向上、このプログラムの実施率50%
- ・機能評価システムの作成

B) プログラム活動の検討・評価

- ・個人ボックスの活用(編み物、刺しこ等々個別に長期に渡る製作物等の預かり)

②介護力の向上

A) 基本介護力

- ・神戸老人福祉施設連盟の研修を活用し向上を図る。

B) 認知症介護力

- ・当園プラム棟で成果が見られたBS法（ブレインストーミング）を導入し職員教育を図る。

5. <経営部門>

<23年度重点目標>

①充足率90%維持及び登録者40名を目指し、経営基盤の安定を図る。

A) 欠席者の理由を割り出し、現状を知る。

B) 皆勤賞授与等で継続して利用していただくよう意欲増進を図る。

C) 総務部と共に経営分析を長期・中期的に行い健全な経営を維持する。

D) 居宅・あんすこ・吉祥園の協力のもと、営業に出向き新規利用者獲得する。

E) 毎月居宅等の事業所への営業活動を行う。

②新たな加算取得を目指し収入アップを目指す。

A) 口腔機能向上加算の取得を目指す。

③24年度制度改正への対応を図る。

A) 介護・医療・会計等の制度改正への対応

- ・研修会等へ参加し、変更内容を確認する。

- ・会議等を利用し、変更内容の周知徹底と対策を検討する。

6. <栄養科>

<実践目標>

①誤嚥事故0パーセントを目指す。

A) 給食会議を活用して他部署間で情報を共有し、勉強会を行う

B) 安易に食事形態を変えるのではなく、他職種で食事形態を見直し状態にあった食事内容を提供する。

②ゲストの食事に対する満足度をあげることができる。

A) 初年は年2回アンケートを実施し、本年度2回目の満足度評価を上回ることができる

B) 検討材料の一つとして、周辺のデイサービス事業の食事提供情報を収集し、食事サービスの向上を図る。

<年間行事食>

月	年間行事	行事食	月	年間行事	行事食
4月	お花見	昼食・間食	12月	クリスマス	昼食・間食
5月	母の日	昼食・間食		餅つき	間食
6月	父の日	昼食・間食	1月	元旦(正月料理)	デイ初日～3日
7月	七夕	昼食・間食		餅つき	間食
9月	敬老の日	昼食・間食	2月	節分	昼食
10月	秋祭り	昼食後		バレンタインデー	間食
11月	焼き芋	間食	3月	ひな祭り	昼食・間食

※年2回、昼食作りを実施

＜月間行事＞ 1週間

選択食	毎日（行事食週は除く）	年間行事の特別食	当日前後の1週間
誕生日会	最終週	おやつ選択	毎日

7. 《看護部》

＜実践目標＞

①バイタルチェック

- A) 利用時検温、脈拍、血圧測定を行い体調確認を行う。
- B) 入浴時の観察を行う。

8. 《理学療法科》

＜年間計画内容＞

ゲストのADLレベルの状態を観察すると同時に、必要であると判断すれば、そのゲストの状態に適合したリハビリ項目を計画・施行する事で、レベル低下を最小限に抑え、同時に現場への対応策を指示・報告する事で二次的・三次的リスクを未然に回避する役割を担う。

＜実践目標＞

①個別機能訓練者のADL維持・向上

- A) 在宅状況に順応した訓練計画作成・実施・随時
- B) オーバーワークへの対処（プログラム変更等）

→今年度は、個別機能訓練を充実させる為の技術・知識の研修等への参加を行っていく事で、より良いサービス提供が出来るシステムを作っていく、ADLの向上へと繋げていく。また、その得た知識・技術を施設利用者にも活用していく、基本概念であるゲストのレベルを下げない目標へ反映していく。

9. 《委員会活動等》

10. 《衛生》

11. 《苦情処理》

☆弥勒園同様

12. 《職員構成》

施設長	生活 相談員	看護 職員	機能回復 訓練士	介護職員 （常勤）	介護職員 （非常勤）	運転手
1名	2名	2名	1名	2名	6名	1名

13. 《職員会議等》

頻度	会議名		
月1回	正副施設長会議	あんすこ部会	主任会議
	デイ部会	仏間会議	検討会議
随時	ケアカンファレンス		

14. 《行事予定》

月	行 事	定例行事
4	お花見・喫茶店へ行こう	リハビリ体操
5	菖蒲湯・母の日会	ゲーム
6	父の日会・買物ツアー	理髪サービス
7	七夕祭り・喫茶店へ行こう	誕生会
8	夏祭り・ひまわりを見に行こう	
9	敬老の日お祝い会・買物ツアー	
10	遠足・運動会	
11	演芸会・喫茶店へ行こう	
12	買い物ツアー・クリスマス会	
1	初詣・餅つき大会	
2	節分週間・喫茶店へ行こう	
3	ひな祭り・演芸会・買物ツアー	